

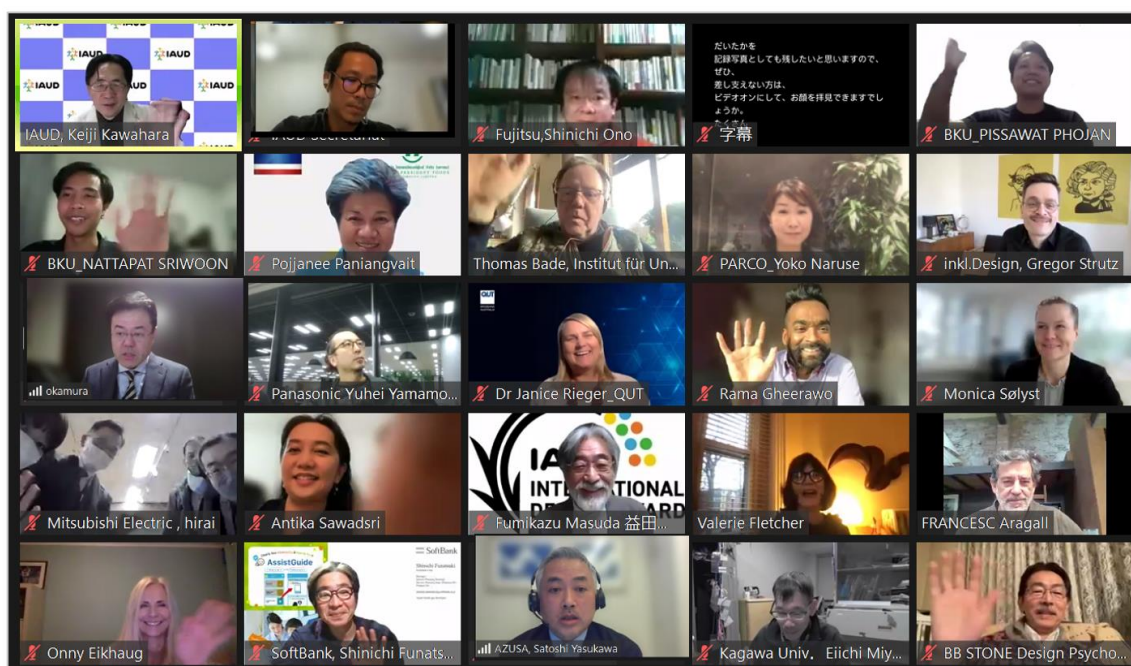
IAUD Newsletter vol.15 第4号(2022年7月号)目次

1. IAUD 国際デザイン賞 2022 募集開始のご案内.....1
2. IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介⑤..... 5
3. UD 検定オンライン第26回初級及び第16回中級開催のご案内.....10
4. IAUD 2022年7月の予定.....10



持続可能な共生社会の実現へ

IAUD 国際デザイン賞 2022 募集開始のご案内



世界 11 か国から約 200 人が参加した「IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション/表彰式」

IAUD は、一人でも多くの人が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けて特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2022」の募集を開始しました。

今回で 12 回目となる「IAUD 国際デザイン賞」は、毎回、個人的なプロジェクトから企業による大規模なプログラムまで、国内外より多くの応募があり、回を重ねるごとに多様な分野での応募が増えております。

そして、これまでに「IAUD 国際デザイン賞」事業の成功と UD への理解の高まりを実証するような、優れた活動や製品が受賞してきました。

今号の Newsletter では、「IAUD 国際デザイン賞」の概要及び「IAUD 国際デザイン賞 2022」募集についてご案内します。

UD 社会の実現に向けた活動を国際的に表彰

「IAUD 国際デザイン賞」事業は、2010 年に UD 社会の実現に向けた活動を表彰する「IAUD アワード」としてスタートしました。

当初は国際 UD 会議に併せて 2 年毎に開催していましたが、3 回目の「IAUD アワード 2013」より毎年開催となりました。

同時に、UD において一定のレベルをクリアしたと認める「IAUD アワード」の授与を新設しました。

これにより、「IAUD アワード」を授与されたすべての応募は「IAUD アワードマーク」の使用が可能となり、広報や宣伝に活用できるので、当事業は UD 達成度を競い合うのではなく、「認定」の意味を持つようになりました。

さらに、「IAUD アワード 2017」の表彰式は初の海外となるドイツ・ミュンヘンで開催し、当事業を海外へ配信する好機となりました。

そして、より海外での知名度を高めるために、2018 年には「IAUD 国際デザイン賞」と名称を改めました。



初の海外開催「IAUD 国際デザイン賞 2017」表彰式(2018 年 3 月、ドイツ・ミュンヘン)

どなたでも応募可能

「IAUD 国際デザイン賞」には、「まちづくり、ものづくり、仕組みづくりなど、持続可能な共生社会の実現に向けた革新的な UD 活動や提案」に関心のある国内外すべての企業、団体あるいは個人やグループが応募できます。

また、特定の店舗やチームなど、企業や団体の下位組織も応募資格を持ちます。応募者独自の著作物や実施例であれば、発表、未発表の別を問いません。

2021 年からは、「未来への提案」「学生デザインチャレンジ」の 2 つの応募カテゴリーが創設されました。

「未来の提案」は、インクルーシブなデザインプロセスに基づいたまだ実行されていないプロジェクトが応募できます。

「学生デザインチャレンジ」は、ユーザー中心とした研究とインクルーシブなデザインプロセスを適用している学生のプロジェクトを対象としており、UD の実践者の育成を奨励するものです。



「IAUD 国際デザイン賞 2019」表彰式
受賞者によるプレゼンテーションの様子

世界 7 か国 9 名による審査委員会

「IAUD 国際デザイン賞」は、持続可能な共生社会の創造を到達目標としており、その実現に向けた革新的な UD 活動や提案を審査対象としています。

選考は、英国、米国、ドイツ、ノルウェー、スペイン、タイ、日本を代表する 9 名の UD 専門家から構成される IAUD 国際デザイン賞審査委員会により、厳正な審査が行われます。

「第1次審査」「第2次審査」を経て、UD 理念の提示や具体的なアイデアの提案、活動の実践などを踏まえ、国際的な視野から審査します。そして、UD において一定の水準を満たしていると審査委員会が判断した応募を「IAUD 国際デザイン賞」の受賞対象とし、その中で最も優れていると判断したものに「大賞」、また部門別に「金賞」「銀賞」「銅賞」を授与します。

受賞発表時、各受賞対象の受賞理由や特に優れていた点などは「審査講評」として公開されます。

また、惜しくも受賞を逃した応募者には、なぜ入選に至らなかったか、審査委員による簡単なコメントを非公開で送付しますので、次回のご応募の参考としていただくことができます。



左上からエイクハウグ審査委員長、益田副委員長、コールマン審査顧問、アラガイ審査委員、バーデ審査委員、フレッチャー審査委員、ギーラオ審査委員、サワスリ審査委員、川原審査委員。

審査委員長：オンニ・エイクハウグ（ノル웨이 EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ理事／イノベーションフォーオール AS 創設者）

副委員長：益田文和（株式会社オープンハウス代表取締役／名古屋学芸大学客員教授）

審査顧問：ロジャー・コールマン（英国王立芸術大学院名誉教授）

審査委員：フランセスク・アラガイ（スペイン デザインフォーオールインターナショナル代表／プロアソリューションズ S.L. 創設者）

同：トーマス・バーデ（ドイツ IUD ユニヴァーサルデザイン研究所 CEO）

同：ヴァレリー・フレッチャー（米国人間中心デザイン研究所所長）

同：ラーマ・ギーラオ（英国王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長）

同：アンティカ・サワスリ（タイ モンクット王工科大学建築学部長・教授）

同：川原啓嗣（名古屋学芸大学名誉教授／一般財団法人国際 UD 協議会専務理事）

UD を対象とした唯一の国際的なデザイン賞

2021 年に審査委員長に就任したエイクハウグ氏は「IAUD 国際デザイン賞」について「UD を対象とした唯一の国際的なデザイン賞。パンデミックや自然災害、政治的混乱など世界中が様々な課題に直面している現在、実生活の問題解決に焦点を当てている IAUD 国際デザイン賞がいかに重要かが実感されている」としています。

また、これから応募を考えている方には、「素晴らしいプロジェクトと成果を世界に紹介できるこの絶好の機会を逃さないでほしい。ユーザー中心の開発の普及を加速するだけではなく、自分自身に名誉をもたらす、世界中の仲間や同僚にインスピレーションを与え、あらゆる年齢や多様な能力の人々に利益を与えることができる」とし、「IAUD 国際デザイン賞を通じて、お互いに情報や知識を共有し学ぶことで、国境を越えて能力と知識と一緒に構築し、よりインクルーシブで公平なグローバル社会を導いていきましょう」と述べています。

表彰式には世界中から参加者

毎回開催している表彰式では、審査結果の公式発表と表彰状授与、金賞以上の受賞者によるプレゼンテーションを行っています。

これまでに、表彰式は国内では東京や横浜、浜松、名古屋、福岡、2017年にはドイツ・ミュンヘン、2018年にはタイ・バンコクと海外でも開催してきました。

2019年と2020年には、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで実施したところ、全世界から200人もの参加がありました。

毎回、表彰式にはメディア関係者も参加し、その様子は新聞や雑誌等で紹介されています。



表彰状

広報活動に有効な IAUD 国際デザイン賞マーク

すべての受賞者は、「IAUD 国際デザイン賞マーク」の使用が認められ、受賞した取り組みのアピールや受賞者のイメージアップに役立ちます。

「大賞」「金賞」「銀賞」「銅賞」の各マークは、受賞発表後1か月のPR期間中は無償で使用可能です。

期間終了後は規定の使用料金をお支払いのうえ、引き続き広報活動等にご使用いただけます。

受賞後5年目以降の使用料は50%減額、10年目以降の使用料は無料となっています。

受賞者が国や地方自治体などの行政機関、国または地方自治体から認可や認定を受けた学校法人、医療法人、宗教法人、財団・社団法人、NPO法人などの公共機関や団体である場合は、マーク使用料は無料、受賞者が個人または中小企業である場合には、使用料は50%減額となっています。

また、特別カテゴリー「学生デザインチャレンジ」での受賞は使用料無料とします。



IAUD 国際デザイン賞 2022
大賞マーク

「IAUD 国際デザイン賞 2022」8 月末まで募集中！

IAUD は、「IAUD 国際デザイン賞 2022」の募集を開始しました。今回も、革新的な UD 活動や提案を応援しますので、皆様の応募をお待ちしております。

第1次審査応募締め切りは **8月31日(水)**です。皆様の応募をお待ちしております。

「IAUD 国際デザイン賞 2022」詳細・応募は [こちら](#) をご覧ください。



革新的な UD 活動を国際的に表彰 IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介⑤

IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介の第 5 回目は、インテリアデザイン部門金賞を受賞した株式会社パルコ(日本)の「心斎橋 PARCO Universal Room」です。

オンニ・エイクハウグ審査委員長(EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ理事)は「心斎橋 PARCO Universal Room」について、「今までのトイレのデザイン概念の枠を超えた、ジェンダー、多様性、包摂性の課題に取り組む UD の重要な発展事例。インテリアデザインの美しさに重点を置いており、個室にオールジェンダー機能を収めるという革新的な取り組み」と評価しました。



エイクハウグ審査委員長

今号の IAUD Newsletter では「心斎橋 PARCO Universal Room」の取り組みを、株式会社パルコの成瀬 陽子氏に紹介していただきます。

※IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2021 審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2021 表彰式開催報告及び IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介①は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介②は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介③は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介④は[こちら](#)をご覧ください。



多様なお客さまがストレス無く利用できるパブリックトイレ インテリアデザイン部門金賞:心斎橋 PARCO Universal Room 株式会社パルコ(日本)



誰もが気持ちよく利用できる心斎橋 PARCO 館内のパブリックトイレ「Universal Room」

グローバル化・多様化に配慮

2020 年 11 月、全国に商業施設を展開する PARCO が大阪市の心斎橋に開業しました。

PARCO は開業以来、ファッションのみならず音楽やアート、演劇など先端のカルチャーを積極的に紹介し、新しいライフスタイルの提案を行って来ました。

今回、開業した心斎橋 PARCO は、年齢、性別にかかわらず、ビルの多様な価値観に共感し、自分らしさを大切にする人々である「ノンエイジ」「ジェンダーレス」「コスモポリタン」をターゲットとしています。地下2階・地上 14 階建てで、ラグジュアリーブランドや JAPAN POP カルチャー、シネマ、レストランなど様々なテナントが入居しています。

そして、社会のグローバル化と共に多様性が尊重される取り組みの一環として、安心・安全で清潔であることを基本に、多様なお客さまがストレス無く気持ちよく利用できるパブリックトイレ「Universal Room」を 3 階と 5 階に計画しました。



パブリックトイレ「Universal Room」計画

大阪市では、2019 年に「性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例」を制定し、その一環として、「トランスジェンダーが入りやすいトイレの普及」に関する取り組みを開始しています。

また、TOTO の調査でも「性別に関わりなく利用できるトイレ」の普及賛否に対して、トランスジェンダーの 86% が「賛成・やや賛成」と回答するなど、LGBT トイレの必要性は年々高まっています。

心斎橋 PARCO では、機能を分散したインクルーシブなトイレ計画により、様々なお客様にフレキシブルにご利用いただけたと考えました。

3F「Universal Room」:光とグリーンを感じる開放的な空間「Veranda」



御堂筋に面するロケーションを活かした「Veranda」のレイアウト計画

ビル3階に、街路樹のある御堂筋通りに面した外光が入るロケーションを活かし、時間の流れや季節の移ろいを感じられ、ウチとソトをつなぐ場所「Veranda」をコンセプトに、お客様が快適に利用できる空間を目指して、開放感のあるパウダールームとトイレコーナーをシームレスに配置しました。

エントランスにもベンチや間接照明を設置し、くつろぎのある空間を演出しました



エントランスにはベンチも設置



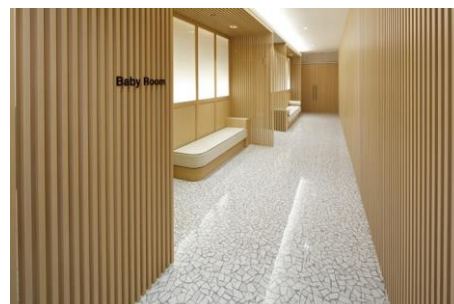
女性レストルームのパウダーコーナーはシッティングとスタンディングタイプを併設



男性レストルームでは小便器を窓際に配置し明るい清潔な空間を演出

5F「Universal Room」:機能分散化でストレスフリーな空間「Diverse Room」

5 階には「Diverse Room」として、機能を分散させた「選べるストレスフリーな空間」をテーマに、グローバル化や多様性に対応して、男女トイレ、パウダールーム、ベビー休憩室、ALL GENDER 対応の個室トイレを設置しました。



入口前にはベンチを設置→



様々な機能を分散させた、選べる・ストレスフリーな空間「Diverse Room」

ALL GENDER レストルームは多目的に利用できる共用トイレとして、車椅子とオストメイト対応、ベビーケア対応、フィッティング対応の3つの個室を設置し、機能分散化によりストレスの無いトイレ空間を目指しました。

また、案内サインは性別を色分けしないモノトーンの色彩としています。



ALL GENDER レストルームには性別を問わず利用しやすいようサインの色彩をモノトーンに設定

多様なお客さまにご満足いただける施設を

「トイレが綺麗なビルにはまた行ってみたい」というお客さまからのご意見は多く、心齋橋 PARCO では様々なお客様に気持ち良く館内で過ごしていただけるように、インクルーシブな機能とゾーニング(空間を用途別にわけて配置する)、デザインに配慮しました。

コロナ禍でより一層、安心・安全で清潔感のあるビルが選ばれる傾向にあるため、この取り組みが心齋橋 PARCO 来店動機の一つになる事を期待しております。

今後も、多様なお客さまにご満足いただけるような施設づくりを推進していきたいと考えています。



在宅で好きな時に UD 資格習得

UD 検定オンライン第 26 回初級及び第 16 回中級開催のご案内

IAUD は「第 26 回 UD 検定・初級」及び「第 16 回 UD 検定・中級」をオンラインで開催します。

「UD 検定・初級」は、UD に関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験(30 分・50 問)のセットです。問題は全て受講した講習内容から出題されます。

「UD 検定・中級」は、力試し問題と UD 検定・中級試験(70 分・129 問)を受けていただきます。試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」に準拠して出題されます。受験される方は事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に試験をお受けください。

初級、中級とも合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には認定証を発行します。

「第 26 回 UD 検定・初級」の申し込み受付は 7 月 12 日(火)から 8 月 18 日(木)まで、「第 16 回 UD 検定・中級」の申し込み受付は 8 月 18 日(木)までです。この機会に是非、ご参加ください。

※「第 26 回 UD 検定・初級」詳細・申し込みは近日中に IAUD サイトに公開します。

※「第 16 回 UD 検定・中級」詳細・申し込みは詳細・申し込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第 1 回 UD 検定・初級」開催掲載の Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第 1 回 UD 検定・中級」開催掲載の Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。



中級受験に必須の
公式テキストブック

IAUD 2022 年 7 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 第26回UD検定 初級申込開始	13	14	15	16	17
18 海の日	19	20	21 14:50~ 衣の UDPJ 産業技術研究センター	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

次号は 8 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介⑥ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会

事務局:〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110

電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net